

研究課題名	窒息症例と統合失調症の関連性について
研究機関名	武蔵野赤十字病院 救命救急科
研究責任者	所属 救命救急科 氏名 伊藤慎一郎
研究期間	(西暦) 2024 年 1月 ~ (西暦) 2025年 3月
研究の意義・目的	当院救急外来において、窒息関連の主訴で搬送される患者において、統合失調症既往の患者が多い実感がある。 過去に海外及び国内でも窒息とその要因に関する研究は数少ない。 当院に救急搬送された窒息患者を抽出し、窒息と統合失調症の関連を解析することで、窒息のリスク要因として証明できるかもしれない。
研究の方法 (対象期間含む)	【研究のデザイン】 通常の診療で既に取得された診療情報を収集、分析する単独・後向き観察研究 【予定研究対象者数】 140人 【評価・観察の項目及び方法】 患者基本情報：年齢、性別、ADL、既往歴、転帰（帰宅、生存退院、死亡退院）、来院前の状態（心停止または非心停止症例） 【統計解析の方法】 収集した項目についてEZRを用いて統計解析を行う。 【研究の期間】 データ抽出対象期間：2018年1月～2023年12月 研究期間：2024年1月～2025年3月
①試料・情報の利用 目的および利用方法	①試料・情報の利用目的および利用方法 上記に記載の通り
②利用し、又は提供する 試料・情報の項目	②利用し、又は提供する試料・情報の項目 患者基本情報：年齢、性別、ADL、既往歴
③試料・情報の取得 の方法	③試料・情報の取得の方法 上記に記載の通り
④利用する者の範囲	④利用する者の範囲 研究責任者のみ
⑤試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称	⑤試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称 伊藤慎一郎、ならびに武蔵野赤十字病院 院長 泉並木
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 救命救急科 氏名 伊藤慎一郎